



第14刊

2015年2月15日発行

Tsukuba for 3.11

編集長：黒田枝里

題字：小中大地

双葉ダルマ市

2014年1月10、11日に行われた双葉ダルマ市に参加してきました。双葉ダルマ市は、福島県双葉町で江戸時代から300年以上続く正月の伝統行事です。震災後は福島県いわき市にある南台仮設住宅に場所を移して開催されています。非常に肌寒い日となりましたが、それにもかかわらず、多くのお客さんが、太平洋を表す青い縁取りが特徴の双葉ダルマを求め会場に足を運んでいました。



様々な大きさの双葉ダルマが店頭に並ぶ



なこそ復興プロジェクトさんの出店も
お手伝いさせていただきました



ステージ企画の様子



会場大盛り上がりのだるま神輿

私が双葉ダルマ市に参加するのは、今年が初めてでしたが、予想を上回る賑わいで、多くの双葉やいわきの方々と交流を深めることができました。また双葉町の伝統芸能なども見ることができ、非常に貴重な経験をさせていただきました。

最後になりますが、今回一緒に出店していただいた、なこそ復興プロジェクトの皆様、芝浦工業大学の皆様、及びダルマ市に関わってくれた皆様に感謝します。

ありがとうございました。

担当：椎名智弘・瀧田溪吾

ココロもカラダもぽっかぽか！

～つくば × 福島 大芋煮会～

2015年2月1日(日)、私たちTsukuba for 3.11主催で、「交流会」を開きました。「交流会」とは、福島からつくばへ避難された方々と交流をしよう！という会です。つくば市民や筑波大学生を招き、様々な年齢層の方々とふれあい、一緒に楽しい企画を行います。

今回は約一年ぶりの開催にもかかわらず、約六〇名ものたくさんの方々にお越しいただきました。



赤鬼！！ おっ…おそろしやー



ハイッ！ あーおてつきしちゃったよ

午前中は、鬼のお面&豆入れ箱作りとつくしまカルタを行いました。鬼のお面は、みなさん熱心に作られ、かわいい鬼やこわーい鬼など粒ぞろいの作品ができました。



右：よーし 今から作るぞー！！
下：完成したみそ味の芋煮 おいしそー



お昼は、芋煮を作って食べました。福島のお母さま方が、手際よく調理していく姿はお見事でした。大学生に手取り足取り作り方を教えている姿が、印象に残りました。できあがった芋煮は、醤油味、味噌味ともに抜群で、お箸が進み、おかわり！の声も連発でした。

午後からは、キャンドル作りとユニークしりとりを行いました。廃油とクレヨンで、とっても簡単に、カラフルできれいなキャンドルが作れるとは驚きでしたね。みなさまが作ったキャンドルは、「3.11心のあかりプロジェクト」で灯される予定です。



夢中でつめこみます 完成が楽しみ♪



「ま」のつく生き物？うーん…
マントヒヒ！

そして最後の記念撮影をしていると・・・なんとサプライズで鬼が登場！してくれました。「おにはーそと」と豆をまいて鬼を退治し、無事に福を招くことができました。

盛りだくさんの一日でしたが、みなさんの笑顔を見ることができとっても嬉しい気持ちになり、やってよかったと実感しました。参加者のみなさまありがとうございました。



鬼をやっつけろー もっと豆ちょーだいっ



鬼のお面を持って ハイチーズ

復興民へ思いをつなぐ

つぐみボランティア活動

介援隊 印南光子さん

今回は、つくば市荳崎地区に事務所を置いて活動していらっしやる「介援隊」の印南光子さんにお話を伺いました。ご自宅が大学から離れていることもあり、お電話にてお話をさせていただきました。電話を通してご自身の強い想いを語っていただきました。

印南さんが介援隊として活動を始められたのは二〇一一年三月十四日、「福島県からつくば市へ大多数の被災者が避難してくる」という新聞記事がきっかけでした。

「私に何かできることはないか」

まずは物資を集め、福島県いわき市の神社へ届けたそうです。しかし、現地を訪れずに活動は続けられない。宮城県の山元町とつながりを持ったのはそれからでした。

「墓石は倒れたまま、自分が歩いている足下には何が埋まっているかわからない。当時は声も出ないくらいひどかったです」

山元町からつくばへ戻り、印南さんの呼びかけで、その想いに共感された三十名の方々が集まり「介援隊」として活動を始められたのは震災が起きた二〇一一年の八月頃でした。「どんな小さなことでも一つ一つ積み重ねていけば人のためになるんじゃないか」

それからは、年一回福島県相馬郡新地町の訪問、北茨城の養護施設「同仁会」のお手伝い年一回山元町の訪問の三つを主な活動とされています。介援隊は全く金銭的援助を受けずメンバーや周囲の方と協力して物資やお金を集めて活動をしています。こういったボランティア団体はなかなか珍しいそうです。

「どんな小さなことでもいい。自分たちの力で出来ることをしよう」

震災直後から毎年、山元町の普門寺に訪問されています。

二年前に介援隊が普門寺に寄贈した桜ですが、昨年春にきれいに咲いたそうです。もうすぐ震災から四年が経ち、五年目の春を迎えようとしています。今後の活動について

「介援隊のメンバーは高齢者が多く、会員は少なくなっています。それでも、活動に興味を持って下さった方がポツポツと入ってくれる。これからもあまり目立たないところで小さな活動を続けるつもりです」

今回、ここには書ききれないくらい、震災当時のことなどたくさんのお話を伺いました。これを機に、改めて自身の活動に対する考え方について振り返るきっかけとなりました。「学生だからこそ一歩踏み出して、何か始められることがあるんじゃないか」そう教えていただいた気がします。

私たち Tsukuba for 3.11 も些細な事から大きなことまで視野を広く持ち、助けを求めている方の下へ手を差し伸べられるよう、日々心がけたいと思います。

大原 光代



しゃべり場 ～新春芸能大会～



2015年1月18日(日)、桜老人福祉センターにて、「しゃべり場」が開催されました。「しゃべり場」は、元気つく場合(いい仲間つく浪会)によって、月に一度開かれており、毎回楽しいイベントが企画されています。今回は、新春芸能大会と題し、参加者のみなさまが秘めた一芸を披露しました。私たちTsukuba for 3.11も3名のエンターティナーを送り込み、漫才とメンタリズムを本邦初公開しました。



恩田&松本の漫才 大爆笑



福井のメンタリズム 大暴走

マジック、ハーモニカ、詩吟など、福島県の方々のひとつひとつの芸に酔いしれました。一生懸命取り組んだことを発表したり、見たりするというのは、年齢を重ねてもやはりドキドキワクワクするものですね。素敵な時間をありがとうございました。



このおーぞらにつばさをひろげ♪



最後に記念写真 パチリッ

文責：恩田怜

わたしたち

「Tsukuba for 3.11」が表彰されました！

担当：上林直人



初めて T-ACT 表彰・優秀賞を受賞しました！



わたしたち Tsukuba for 3.11 の活動がこの度評価され、2つの栄誉ある賞をいただくことができました！

1つ目は、「T-ACT表彰・優秀賞」です。「T-ACT」とは、つくばアクシヨンプロジェクトという筑波大学の推進している学生支援事業のこと。学生が発案した企画・活動にたいして大学の教職員が情報提供などの面でサポートする枠組みで、わたしたち Tsukuba for 3.11 をはじめ、数多くの企画がこの事業から立ち上がっています。今回、わたしたちのこれまでの活動が評価され、平成26年度上半期 T-ACT 表彰において、T-ACT に参加している様々な企画の中から、優れた企画に与えられる優秀賞を受賞することができました。Tsukuba for 3.11 は平成23年度に特別賞をいただいておりますが、優秀賞の受賞は初めての事です。



厳かな雰囲気の中、茗溪会賞を受賞しました。

2つ目は、筑波大学のOB・OGの方々により組織される社団法人「茗溪会」から贈られる「茗溪会賞」です。この賞は、多方面で顕著な社会貢献活動を行っている個人・団体を顕彰する目的で設けられたもの。今回、第13回茗溪会賞顕彰式では合わせて10の個人・団体が顕彰され、わたしたち Tsukuba for 3.11 は、筑波大生により組織される団体としては唯一受賞することができました。

いずれの賞の受賞も、とても光栄なことと感じています。このような栄誉ある賞を受賞することができたのは、わたしたちの活動を応援してくださるみなさんの支えがあってこそのもです。この場を借りて心より感謝申し上げます。今回の受賞を大きな励みにして、わたしたち Tsukuba for 3.11 はこれからより一層精力的に活動していきたいと思っています！

イベント紹介

★ 3.11 東日本大震災復興祈念 心のあかりプロジェクト

- ★ 3月11日(水)
@ 土浦川口ショッピングモール 505
(土浦市川口1丁目3-339)
- ★ 第一部 14:30 ~ シンポジウム
第二部 16:00 ~ キャンドル点灯、ライブ



2014年の様子



みんなでキャンドルを灯しました。

土浦市で3月11日に東日本大震災の復興祈念のチャリティキャンドル点灯イベントが開催されます。震災一年後から毎年行われているイベントで、私たち Tsukuba for 3.11 も設営などをお手伝いさせていただきます。通りすがりの方にも声をかけてのキャンドル点灯のほか、防災や減災を考えるパネルディスカッションや音楽ライブなどが行われる予定です。

担当：小池ちはる



手作りエコキャンドル



来ていただいた方々、
ありがとうございました！！



つくば市のイメージキャラクター「フッケン船長」
も駆けつけました！



つくしまカルタ、過去の掲載記事などと...
準備完了！はい、ポーズ！

このように多くの人に Tsukuba for 3.11 の活動を見てもらえる機会がもたらされるだけでなく緊張しましたが、いろいろな方とお話しできてとても楽しかったです。また、他のボランティア団体さんの個性豊かな活動を知ることができました。今回来れなかった皆様も、また機会がありましたらぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

文責：福井俊介

ボランティアアフエスタ

IN つくば 2015

1月10日11:00~16:00、つくばイーアスにてボランティアアフエスタが開催されました！
このボランティアアフエスタではつくばボランティアセンターに登録しているボランティア団体・個人による活動紹介やステージ発表などが行われました。
中には体験コーナーもあり、イーアスに訪れた多くの人で賑わいました。

ボランティアとは

vol.5

立川 哲之

こんにちは。突然ですが、みなさんはボランティアに対してどのようなイメージを持っていますか。

私はボランティアなんて、ほとんど無力なのではないかと感じています。もちろん阪神淡路から中越、東日本と20年にわたり活動を続けてきて、昨年9月に亡くなられた黒田裕子さんのような方や、プロの方、一部の方は本当に有益な活動を行っていて、なくてはならない存在であるのは確かだと思います。

ですが、多くのボランティア、特に学生団体などはほとんど無力だと思っています。ボランティアは所詮ボランティアです。それは、日々、痛いほど感じています。

では、なぜこの活動を続けているのか。

それは、もしかしたら私たちにも、学生にも出来ることがあるのではないかと、考えているからです。ほとんど無力かもしれないけれど、活動を続けていれば何か役に立てるかもしれない。ひとりでも喜んでくれる人がいるかもしれない。そう信じているからです。

そして、やらずに最初から無力だと諦めていても仕方がない。実際にやらなければわからない。やらなければ後悔すると思うからです。

もうひとつ活動を続けている理由があります。それは、この活動が楽しいからです。楽しくなければ活動は続けられなかったと思います。幸いなことに、この活動を通して出会う方は素敵な方ばかりです。

そしてなにより、素晴らしい仲間にも恵まれています。ひとつのものに向かって、みんなで考える楽しさ。みんなで力を合わせていく楽しさ。それがこの活動にはあったから続けられているのだと思います。

私どもの団体のメンバーは、どんな課題があるのか。どんな活動をしていったら良いのかを日々考えています。

まだまだ至らないことばかりですが、「つくしま」を読んでくださる方、企画したイベントを楽しみにしてくださる方、活動を温かく見守ってくださる方々に、本当に感謝しています。また、そんな方がひとりでもいらっしやる限りは、団体が存続していければよいなと思います。

メンバー紹介

～うっちー & ともひろ編～

芸術専門学群 2年生

内海亜紀子

(愛称：うっちー)



海が似合ううっちーは、芸術センスはもちろんのこと、ダブルダッチサークルでパフォーマンスをするアクロバティックな一面も見せるという能力の持ち主、できる女、つまりでき女!!!

今後の活躍にも期待です!! (^ ^)(^ ^)

○そんなうっちーにインタビュー○

好きな食べ物は? チョコレート

嫌いな食べ物は? 特になし

Tsukuba for 3.11 に対する意気込みを!

東北大好きなので、復興の手助けに少しでもなれればいいなと思ってます!

生命環境学群 生物資源学類

3年 椎名 智弘

あだ名 アマゾンの飽和水蒸気量、
関係代名詞 that、
休みの日大納言、どや



みんなからの印象

素早い、俊敏、スピーディー、
速やか、急、躍動感あふれる、
身軽、シンプルに速い、
フットワークが軽い、遅い、機敏

好きな蟹のタイプ 海老

(いや、タコちゃんかーいという
ツッコミがメンバーの恩田から入りました)

鳥居を立てる風習は、神社の建物がつくられるようになる前から存在した。古来日本では、屋根のない門という意味で「於上不葺御門(うえふかずのみかど)」ともいった。中国の「華表」の訳を鳥居とするので、過去には漢文で「華表」と記したこともあったという。

つくばのおすすめスポット⑩ さくら交通公園

つくしま第5刊（2013年4月11日発行）で「つくば紹介」と題して始まったこのコーナーも10回目を迎えました。今回は、つくば駅近くの土浦学園線沿いにある「さくら交通公園」について紹介します！

さくら交通公園には、信号機や立体交差点が設置されており、自転車やゴーカートに乗りながら楽しく交通安全について学びます。僕が取材のために訪ねた日も子ども連れの家族がいまいました。ちなみに、自転車は50円、ゴーカートは100円（それぞれ1時間単位）でレンタルができます。自転車については持ち込みも可能です。

この公園には他にも目玉があります。D5170号の蒸気機関車、東名バス第一号車（ドリーム号）が展示されています。なんと、いずれもかつては日本国内で実際に使用されていた「本物」です！この展示を目当てに茨城県内だけではなく、県外からもお客さんがいらつしやるようです。

このように、さくら交通公園はリーズナブルに楽しく過ごすことができます。公園整備のため、2015年2月2日(月)〜3月20日(金)の期間は閉園されるので、暖かくなった頃に一度お出掛けしてみたいかがでしょうか？

担当：霜鳥太一



昭和50年までの38年間で約300万kmを走行。これは地球と月を3往復以上できる距離だそうです！

所在地：茨城県つくば市吾妻 4-3-3
 開園時間：9:00~17:00（12/28-1/4 は休園日）
 連絡先：029-851-6323（さくら交通公園管理事務所）
 駐車場：37台（無料）
 利用日：月曜日と木曜日を除く毎日。
 （月曜日が祝日の場合は、火曜日とする。）
 貸し自転車、ゴーカートの利用時間：
 10:00~16:30（受付は16:00まで）
 （ただし、ゴーカートの使用は子どものみ可能）

頭の体操！

まちがいがし



今回の間違い探しは

節分の鬼です！

左と右の反転した絵では
 違うところが5つあります。
 いくつ見つけられますか？

担当：園田有紀乃



前回の答え合わせ

編集後記

新年1発目のつくしまはいかがでしたか。遂に2015年となりました！今年の干支は未ですね！この「未」という字、もともとは象形文字で木の枝葉の茂った様を表しており、豊作を意味する字なのだとか。2015年も皆様にとって実りある1年となることをお祈り申し上げます。

さて、お正月には新たな目標を立てた人も多いのではないのでしょうか。この3月で震災から4年が経過しようとしています。これから目標に向かって進もうとしている方や、既に新たな環境に一步踏み出したという方など人それぞれ状況は異なりますが、そうした皆様が情報を共有し合い、新たな出会いや発見が生まれるような場をこれからも作っていければと思っております。

しばらく寒い日が続きますので体調にはお気をつけください。

2015年もつくしまを、そしてTsukuba for 3.11をどうぞよろしく願いいたします！！

それでは、次回のつくしまもお楽しみに！

担当：黒田枝里



～つくしまの声 募集中！！～

つくしまは皆様からのご意見・ご感想を大募集しています！

こうした情報を載せてほしい…。

この記事が面白かった！

交流会って何をしているのだろう？

などなど、どんなことでもお気軽にお声かけください！

ご意見・ご感想は下記の連絡先までお願いいたします。

よりよいつくしまを作るために生かしていきますので、皆様からのお便りをお待ちしております！！

☆連絡先（メール）☆

tsukubafor311@gmail.com

（件名を「つくしまの声」としてください）

担当：黒田枝里